

第一回「渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替え準備委員会」を実施しました

渋谷区では渋谷区『新しい学校づくり』整備方針に基づき、老朽化した校舎及び体育館等の建て替えを進めています。渋谷区立猿楽小学校と鉢山中学校は、学校の建て替えを機に、鉢山中学校敷地にて小中一貫教育校の設置を予定しています。

建て替えにあたっては、「新しい学びの空間」の実現を目指して、小中一貫教育校として相応しい学校環境の整備を行います。建て替え後の新しい学校や移転中の学校運用等について、関係者の皆様に情報共有をするとともに、意見交換を行うため、学校やPTA・地域団体等の代表の皆様で構成された「渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替え準備委員会」を設置しました。

今後も、皆様と情報共有・意見交換を重ねながら、新しい学校づくりを進めていきます。

発行年月日：令和6年12月25日
 発行者：渋谷区教育委員会事務局
 住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号
 問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

R6.10.22 第一回委員会 議題

①委員会設置・会議の運営について

②渋谷区『新しい学校づくり』整備方針の概要

③建て替え準備委員会スケジュールについて

④小中一貫教育校建て替えの概要

⑤既存施設と法的規制について

⑥意見交換

渋谷区『新しい学校づくり』整備方針に基づいた「新しい学びの空間」の実現を目指して、小中一貫教育校として相応しい学校環境の整備を行います。

- 1. 敷地の特性も活かした安心・安全で活動的な教育環境づくり**
 - 敷地形状や特性を最大限に活かした校舎配置と屋外空間とし、児童・生徒が活動しやすい環境を整備します。
 - 建物内外ともセキュリティをしっかりと確保し、子ども達が安心して学べる施設づくりとします。
- 2. 地域とともに歩む、地域が誇れる学校づくり**
 - 今後長期間に渡って地域に根差す学校として、積極的な地域開放が出来る施設構成とします。
 - 円滑な運用が出来る地域開放動線計画を行い、学校と地域が共に育てている学校づくりを目指します。
- 3. 小中一貫教育校の多様な学びを体現できるラーニング・コモンズ**
 - 9年間の学びの場として、児童・生徒が協働も出来る主体的・対話的な学びの場をつくります。
 - 教室は、教科や規模に応じて可能な限り可変的なつくりとし、柔軟な教育活動に対応できるようにします。

ラーニング・コモンズのイメージ

子供達がタブレットや本で情報収集しながら主体的に学べる共有空間です。一人で集中する学び、グループで協働する学びなど多様な学習スタイルに対応しています。



出典：青山キャンパス

整備方針の説明資料

委員会設置・会議の運営について

- ・目的：幅広い意見を募るため
- ・組織：学校長、PTA代表、地域代表、渋谷区教育委員会事務局ほか
- ・開催頻度：2か月に1回程度



敷地周辺環境の分析資料

敷地概要	計画敷地6,919㎡	周辺地図
所在地	(住居表示)渋谷区猿楽町1番1号 (地名地番)渋谷区猿楽町1番1号計画敷地より	
用途地域	区域①(敷地内)：第2種中密度住居専用地域 区域②(敷地外北側)：第1種住居地域	
容積率	300%	地区計画等の 規制
容積率延床積算	24,573㎡	
建ぺい率	60% (敷外火地脚時の敷外建ぺい率は+10%)	地区計画：該当なし 都市計画区域(調整区域等)：該当なし 特別用途地区：該当なし 住居専用地域：該当なし 商業地区：該当なし 住居表示区域：該当なし 地区計画：該当なし 埋蔵文化財発見地区：該当なし(敷地内南側部分)
容積率延床積算	4,914.6㎡ (準防火地域時の敷外延床積算は、733.7㎡)	
防火地区	防火地域(2区画区域：指定なし)	
高さ制限	20m(第3種高度地区) ※建築物高さの最高高度20m 高度地区制限(北側)：勾配±25+立上り0m	
日照時間	区域①(敷地内)：4-2.5時間、満足度高4m 区域②(敷地外北側)：勾配±25+立上り0m	
斜傾斜度	傾斜制限：勾配±25 適用距離2m 傾斜制限：勾配±25+立上り0m 傾斜制限：勾配±25+立上り0m	
用途	新規 特別用途 第3種中密度 幅員3.22m(42畳11畳1号) ※区域②内は現行用途(住居専用地域)となります。	

敷地の都市計画に関する主要な法規制

渋谷区『新しい学校づくり』整備方針の概要について

“ちがいをちからに変える”ことができる次世代人材を育てる渋谷をテーマに、シブヤモデル『未来の学校』の創造を目的として、2022年5月に、具体的なイメージや整備水準、ロードマップなどを整備方針としてまとめています。



出展：整備方針にあるイメージ図



整備方針の内容
(区ホームページ)

一定制について 2024.10.31 小中一貫教育校 建て替え準備委員会資料

新しい小中一貫教育校では、一定制の導入を検討しています。

一定制の概要 上層を廃止することにより、通学時の下層を置き替えることなく、校舎や校庭、その他の施設設備等の利用を可能とする施設運用制度

【主なメリット】

- ①教育活動の展開性向上
 - 「学習活動の閉鎖性」に陥りにくいため、教室内の活動や授業の外部にも展開でき、より多様な教育活動を展開できる。
 - 「校舎の閉鎖性」に陥りにくいため、校舎の活用や教育活動の展開が容易になる。
 - 「校舎の閉鎖性」に陥りにくいため、校舎の活用や教育活動の展開が容易になる。
 - 「校舎の閉鎖性」に陥りにくいため、校舎の活用や教育活動の展開が容易になる。
- ②学習環境の向上
 - 学習に大きな投資を要する必要がある学習環境(学習環境)の向上が期待できる。
 - 学習環境の向上が期待できる。
- ③その他
 - 学習環境の向上が期待できる。

【主なデメリット】

- ①校舎の老朽化による、校舎や校庭の維持管理の向上、更新や修繕に要するコストの増加が懸念される。
- ②校舎の老朽化による、校舎や校庭の維持管理の向上、更新や修繕に要するコストの増加が懸念される。
- ③校舎の老朽化による、校舎や校庭の維持管理の向上、更新や修繕に要するコストの増加が懸念される。
- ④校舎の老朽化による、校舎や校庭の維持管理の向上、更新や修繕に要するコストの増加が懸念される。
- ⑤校舎の老朽化による、校舎や校庭の維持管理の向上、更新や修繕に要するコストの増加が懸念される。

一定制について

渋谷区では建て替え準備委員会にて頂いた意見を整理するとともに、ニュースレターを通じて進捗に関する情報発信とご意見をいただく機会を作っています。これからも引き続き、より良い小中一貫教育校を目指して委員会を開催していきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

	ご質問	ご回答
仮設校舎	青山キャンパスに校庭はありますか。運動会や部活動はどのように行うのでしょうか。	敷地内に校庭を整備します。運動会会場は、近隣の学校の校庭も含めて検討しています。部活動は、区立中学校全体で渋谷区スポーツ協会と連携しながら活動を行います。
小中一貫教育校建て替え	鶯谷地区側の擁壁に関して、構造面を気にしています。	安全面に対して調査をしています。現在分かっているものについては、建て替え準備委員会の中でもご説明できると考えています。
	小中一貫教育校になること、鉢山中学校敷地とすることは決定事項でしょうか。	猿楽小学校を周辺校の仮設校舎として活用することを含め、この方向で進めていきます。小中一貫教育校は地域バランスを踏まえて配置を予定しています。鉢山中学校敷地は猿楽小学校敷地より敷地面積が大きいことから選択しています。
	近隣住民の学校への避難を考え、敷地北側からも出入りできると良いと思います。	既存擁壁の取り扱いも含めて、今後議論していきたいと考えています。
	地域の倉庫や防災用の倉庫は用意してほしいです。	地域・防災用の倉庫の設置について計画をします。
	猿楽小と鉢山中の両方の敷地を使用した、施設分離型の小中一貫教育校の検討はしたのでしょうか。校庭面積が狭くなることを懸念しています。屋上なども活用して外で遊べる場を設けてほしいです。	基本的には鉢山中学校敷地で収まる試算をしています。離れた敷地の小中一貫教育校の事例はありますが、連続性を考えると1つの場所で学校運営ができる方が良いと考えています。子どもたちの運動場所の確保は重要なことであると認識しているので、どこまで可能かは今後も検討をしていきます。
	避難所として活用するのであれば、夜間照明をつけたほうが良いと思います。	今後検討していきます。
	解体工事は令和10年からですが、それまではグラウンドの地域利用は可能ですか。	解体工事が始まるまでは地域利用ができるように計画します。
	ハザードマップを見ると浸水地域になっており、浸水によって避難所が開かない場合があるとされています。新しい校舎ができた際は解消されますか。	ハザードマップは変わりません。設計時に、浸水しない工夫を建物側で検討していく必要があります。
新しい学校ができるのは10年後になりますが、これから学齢期を迎える区民に対して、広く広報できているのか不安に思っています。	建て替え整備方針は区のHPで公開していますが、より十分な周知となるよう、周知の方法も考えていきます。	
一足制	一足制は、猿楽小でも採用されていた時期がありました。保護者や生活科委員から反対、望ましくないと意見がありました。課題があることも考えながら検討いただきたいです。	懸念点も含め、引き続き検討していきます。
	広尾中など他新設校も一足制でしょうか。	広尾中や松濤中、代々木中、神南小に関しても、一足制を予定しています。他区でも一足制が増えており、地域開放や活動の場が広がっています。